

庁舎整備の取組について

令和 8 年 5 月

総務部 庁舎整備課

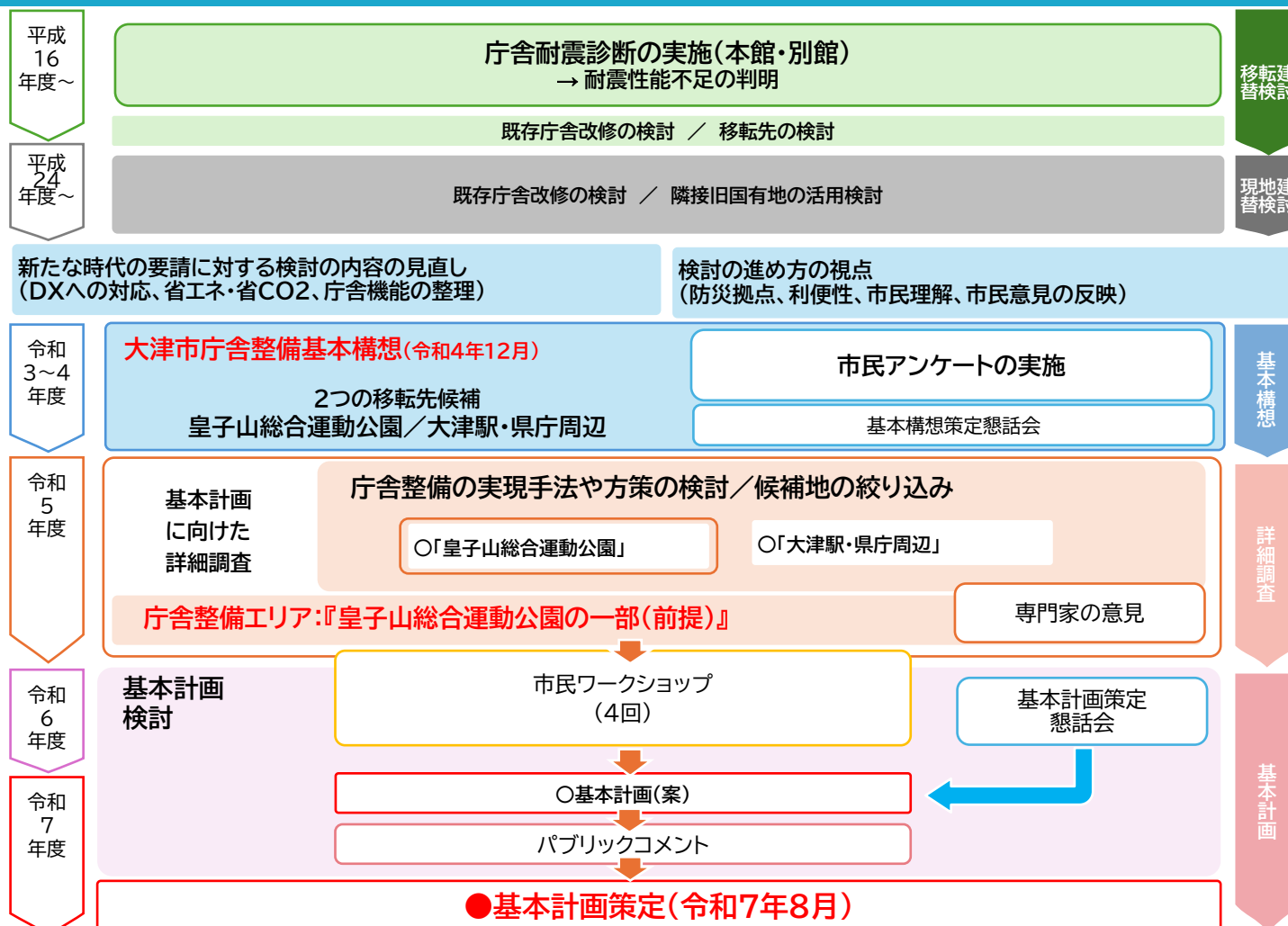
目 次

1	基本計画策定までの取組	・ ・ ・ ・ ・	3
2	令和 7 年度の取組	・ ・ ・ ・ ・	8
3	設計事業者選定に向けた取組	・ ・ ・ ・ ・	14
4	庁舎整備に向けた今後の取組 (令和 8 年度～)	・ ・ ・ ・ ・	18

1 基本計画策定までの取組

1 基本計画策定（令和7年8月）までの取組

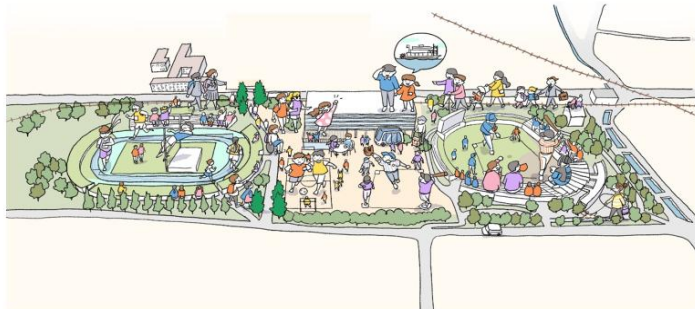
（１）基本計画策定に至る経緯について



1 基本計画策定（令和7年8月）までの取組

（2）基本計画策定に向けてのパブリックコメント等について

大津市庁舎整備基本計画（案） パブリックコメント市民説明会のご案内



日時：令和7年 6月21日（土）
（午前の部）10:00～11:30
（午後の部）13:30～15:00
※午前・午後とも同一の説明内容です。

会場：大津市役所 新館7階大会議室 定員：各100名（事前申込制・先着順）

大津市役所の本館と別館は耐震性能不足をはじめ、建物自体の経年劣化や狭隘化、設備の老朽化、バリアフリーへの対応が十分でない等の問題があることから、これらの課題を解決するために、これまで新庁舎の整備に向けて検討を行ってきました。

この度、皇子山総合運動公園（一部）での整備を前提に、公園と一体となった庁舎整備による交流の創出や防災力の向上を目指し、策定を進めている大津市庁舎整備基本計画（案）（以下「基本計画（案）」という。）をとりまとめましたので、大津市パブリックコメント制度に基づき、6月13日（金）から7月7日（月）まで、市民の皆さまのご意見を募集します。

ついでに、基本計画（案）に対する理解を深めていただくことを目的に市民説明会を開催しますので、ぜひご参加ください。

※基本計画（案）及びパブリックコメント実施内容については、6月13日（金）以降に右の二次元コード（大津市ホームページ）からご確認ください。



説明会プログラム（午前・午後共通）

1. 基本計画（案）等説明（50分程度） 基本計画（案）の概要やパブリックコメント制度について説明します。
2. 質疑応答（40分程度） 参加者の皆さまからのご質問について説明します。

申込方法（大津市電子申請サービス又は電話にて先着順）

右の二次元コード又は下記の電話よりお申込みください。
※申込みは先着順とさせていただきます。定員に達し次第、受付を終了させていただきます。申込締切：6/17（火）17時

【主催・問合せ】大津市管財課庁舎整備室 TEL：077-536-5736（受付時間 平日9:00～17:00）

市民説明会 結果概要

開催日	令和7年6月21日
参加者数	午前の部 27人 午後の部 15人

- ・庁舎整備の取組経過を説明
- ・基本計画（案）を説明
- ・パブリックコメント実施内容を説明
- ・質疑応答

パブリックコメント 結果概要

募集期間	令和7年6月13日～ 令和7年7月7日
提出者数	23人
意見数	72件

- ・スケジュール、基本コンセプト、障害者等への配慮、庁舎周辺への影響など幅広く意見を徴取

■はじめに

現在の大津市役所庁舎のうち本館と別館は、耐震性能が不足しており、南海トラフ巨大地震等の災害発生リスクが高まっている中、現庁舎の建替は喫緊の課題であり、また、建物自体の経年劣化や狭小化、設備の老朽化、バリアフリーへの対応が十分でないなど、様々な問題があります。これらの課題を解決するため、市民アンケートや専門家の意見により庁舎の建替え検討行ってきました。その後、市民ワークショップなどの結果を踏まえ、交流の創出や防災力の向上を目指す公園と一体となった庁舎整備の方針をまとめています。

本館	別館	新館	第二別館
S42.3月	S46.4月	H1.3月	H5.9月
※58年	※54年	※36年	※31年
耐震×	耐震×	耐震○	耐震○

■市民アンケート（基本構想）

基本構想策定に向けて1万人を対象とした市民アンケートを令和4年7月に実施しました。

調査票配布数	10,000通
回答数	3,880通
回答率	38.80%

○庁舎整備の必要性

⇒「整備する必要がある」84.6%

○望ましい候補地のエリア

⇒「皇子山総合運動公園」46.1%
⇒「大津駅・県庁周辺」26.3%

○庁舎の立地

⇒ 公共交通や車でのアクセスの良さ／駐めやすい駐車場

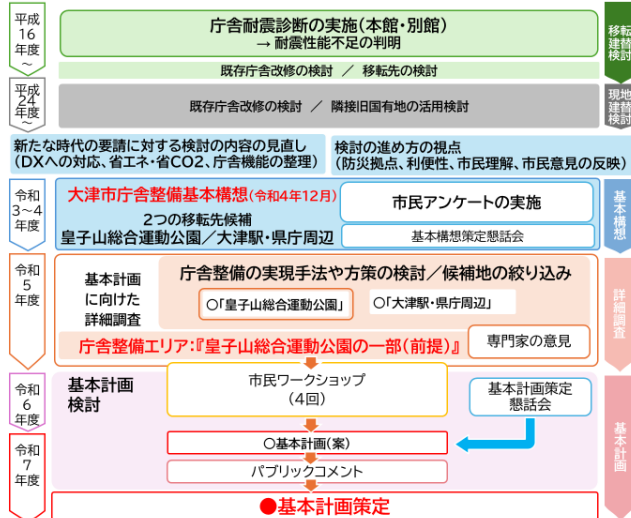
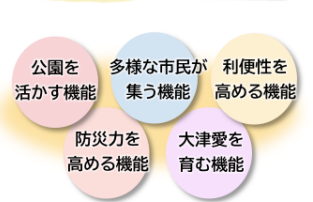
○新しい庁舎に求める機能

⇒ わかりやすい総合窓口、市民サービス（デジタル化、支所との連携強化）

■市民ワークショップ（基本計画）

基本計画の検討に当たり、市民の皆様様々な視点に立った意見やアイデアを反映するため、新しい庁舎に必要な施設や機能、次世代の庁舎のあり方について考える「市民ワークショップ／新しい庁舎の整備について考えよう！」を計4回開催しました。市民ワークショップでの意見を踏まえ、新庁舎に導入する機能の考え方として、大きく5つに整理しました。

【第1回】事前勉強会 3/23(土) 参加者28人	新しい庁舎の整備に向けて、課題を確認しよう！
【第2回】テーブルワーク 5/11(土) 参加者23人	新しい庁舎にほしい施設や機能について考えてみよう！
【第3回】テーブルワーク 6/8(土) 参加者22人	公園と一体となった庁舎のあり方やイメージについて考えてみよう！
【第4回】報告会 8/24(土) 参加者23人	将来の大津市庁舎のあり方について提案してみよう！



■庁舎整備予定地

庁舎を整備する敷地については、計画段階から用地取得の可能性が高いこと、市域全域をカバーする行政ネットワークの拠点としての中心性、交通アクセス、災害リスクなどの観点から4カ所を候補地とし、市民アンケートや専門家の意見を踏まえ、また、別所合同庁舎用地（国）を代替公園とすることで、公園と一体となった庁舎整備による交流の創出や防災力の向上などの効果が見込めることから、「皇子山総合運動公園（一部）」としました。

評価項目	皇子山総合運動公園 皇子が丘公園 大津駅・県庁周辺 唐崎駅前
①「庁舎整備用地としての高い担保性」	
②「県庁や国の機関などの行政機能の集約を意識した距離感」	
③「市域全域をカバーする行政サービスネットワークの拠点としての中心性」	
④「公共交通機関や幹線道路によるアクセス」+「ハザードの状況」	
※ハザードの影響があるところは除く。ただし、対策可能な浸水区域の影響は考慮しない。	
絞り込み	
「優先して検討を行うおおよその候補地」	皇子山総合運動公園 ※公園の一部
「市民アンケート」や「庁舎整備基本構想策定懇話会の意見」	
「庁舎整備が大津市全体のまちづくりに与える効果」	
①別所合同庁舎用地（国）を代替公園とした公園と一体性	
②新館との連携、周辺の空地確保による防災力の向上	
庁舎整備エリア：皇子山総合運動公園の一部（前提）	

<敷地選定のフロー>



<庁舎整備予定地の周辺状況>

■コンセプト

基本構想時の基本コンセプトをベースにこれまでの検討や市民ワークショップ及び懇話会の意見を反映し整理しました。

基本コンセプト	基本方針	想定している整備内容(例)
① 健康・育み・歴史文化のまちづくりの拠点となる庁舎	山から琵琶湖へ至る豊かな自然や歴史文化を基礎に、皇子山総合運動公園を中心にスポーツや健康づくりの拠点となる庁舎	行政サービス利用者だけでなく、公園利用者や観光客など多様な方が利用でき、活動が見える、開かれた市民交流スペース ・想定している機能 ・市民も利用できるホールとしても活用可能な会議室 ・市民が自由に利用できるスペースなど
② 災害時に機能する防災拠点としての庁舎	自然災害に強い、災害対応に優れた庁舎	耐震安全性の確保
③ 市民が親しみやすく利用しやすい庁舎	市民の安全・安心を守る拠点となる庁舎	災害時対応における庁舎機能と公園との一体利用
④ 環境に配慮した自然に優しい庁舎	市民サービスの向上につながる庁舎	ワンストップ窓口の整備（低層階）
⑤ 自治体DXを推進しネットワークを強化する庁舎	市民に開かれ、市民に親しまれる庁舎	バリアフリー・ユニバーサルデザイン・インクルーシブデザイン
⑥ 執務環境の整備による生産性の向上を実現する庁舎	省エネ・省CO2でライフサイクルコストを削減する庁舎	ゼロ・エネルギー・ビルの実現
	周辺環境と共生し、持続可能な社会を実現する庁舎	大津の景観への配慮した庁舎
	自治体DXの推進に向けた庁舎	オンラインや身近な支所で用件を済ませられるように、支所と連携した行政サービスネットワークの拠点となる庁舎
	支所と連携した行政サービスネットワークの拠点となる庁舎	フレキシブルな執務エリア

■ 公園と一体となった庁舎

新庁舎は、公園と一体となった庁舎として、緑を活かし良好な景観を形成することを目指します。また、周辺の歴史文化・自然等と調和し、山と湖の関係性、風の流れ、地域で育まれた生活文化を取り入れることを重視します。

新庁舎の形状と配置については、新庁舎周辺広場の確保や公園と一体利用を想定した歩車動線、周辺環境・景観へ配慮だけでなく、市民の利便性、コスト、災害時対応などについても検討が必要です。市全体のまちづくりや広域的な視点を踏まえた新庁舎のあるべき姿を検討します。

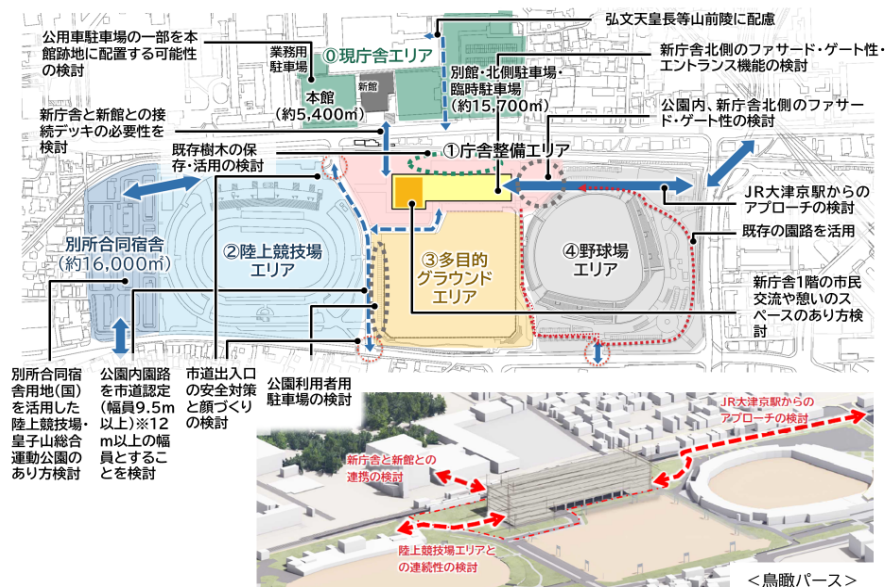
<歴史文化のまちづくりの拠点>



<公園と一体となった庁舎イメージ>



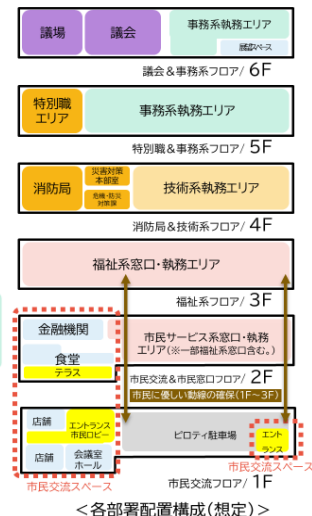
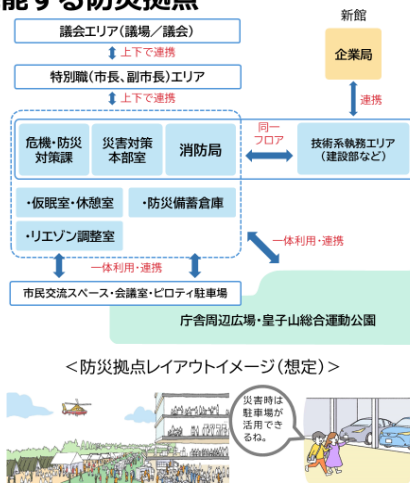
■ 庁舎周辺を含めた一体利用イメージ



■ 災害時に機能する防災拠点

新庁舎は、防災拠点として、災害時に事業継続可能な庁舎であることを目指し、災害時対応における庁舎機能と公園との一体利用や防災拠点としての庁舎レイアウトを検討します。

また、地震の揺れを制御できる免震構造を基本として検討するほか、ゲリラ豪雨や台風等、計画想定を上回る規模の自然災害に対しても安全な建物となるように検討します。



■ 規模・費用

新庁舎の規模や建築に必要な費用について、基本計画段階では以下のとおり想定しています。建築費については、近年の他都市における新庁舎の建築費を参考に算定したものです。ただし、今後の建築物価の変動、地盤調査の結果、建物の配置計画、構造上検討の変更によって費用が増減の可能性があり、基本設計段階で見直しを行うことがあります。

<財源の確保に向けて>

庁舎整備の財源については、積立を進めている庁舎整備基金等だけでは賸えません。また国の財政支援のある有利な地方債の活用が見込めない状況です。この地方債の償還に伴う財政負担は、将来にわたって本市の財政運営に大きな影響を与えることになるため、国への要望活動を行うなど、財源の確保に努めていきます。

- ① 想定新庁舎規模 約25,000㎡～27,000㎡(6階建)
※1階部分はピロティ駐車場
- ② 建築費単価 75～85万円/㎡(税込)
※令和6年12月時点の他自治体の建築費単価等を参考に設定
- ③ 建築費 約200 ～ 245億円
※ピロティ駐車場(約3,000㎡)含む
- ④ 地方債(借金)の返済額 約11億円(償還期間30年)

■ 想定スケジュール

新庁舎の整備事業は、右のスケジュールで進め、令和14～15年度にかけて新庁舎への移転及び供用開始を目指します。ただし今後、用地の取得時期や造成工事等によりスケジュールに変更が生じる場合があります。

	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度
新庁舎										
用地取得										
造成工事										
建築工事										
移転・供用開始										

2 令和7年度の取組

2 令和7年度の取組

(1) 基本計画策定支援業務（R6～R7実施）について

大津市庁舎整備基本計画策定支援業務

委託金額 : 20,746,000円（税込）

委託期間 : 令和6年7月12日～令和7年7月31日

業務内容 : ① 庁舎整備等の基本的な考え方の検討

公園と一体となった庁舎整備による交流の創出や防災力の向上、市民の利便性や周囲の環境等に配慮した計画とし、下記の点について検討

- ・ 庁舎整備に関する基本的な考え方、庁舎周辺整備に関する基本的な考え方、代替公園整備に関する基本的な考え方、現庁舎や跡地等に関する基本的な考え方

② 新庁舎の導入機能・性能の検討

③ 新庁舎の規模の検討

④ 施設計画の検討

（配置計画、建築計画、構造計画、設備計画、外構計画）

2 令和7年度の取組

(2) オフィス環境整備支援業務（R6～R7実施）について

大津市庁舎整備検討におけるオフィス環境整備支援業務

委託金額 : 23,462,800円（税込）

委託期間 : 令和6年6月4日～令和7年12月26日

業務内容 : ① 現庁舎、各所属におけるオフィス環境調査及び整備方針の検討等
支援業務

・各所属のレイアウト調査 ⇒ 現状図作成、会議室利用実態調査など

② オフィス環境整備方針の検討等支援

・文書庫の規模想定及びあり方の提案など

③ 公文書管理制度及び運用の見直し並びにペーパーレス（電子決裁等）
の推進支援業務

・現行規定等の調査、所属における文書管理意識調査、課題整理など

④ 職員の意識改革及び機運醸成支援

⑤ パイロットオフィス導入及び検証

2 令和7年度の取組

(3) 庁舎整備推進本部について

開催回	開催日時	概要
第25回	令和7年4月28日	○庁舎整備推進本部体制及びスケジュールについて ○庁舎整備に係る財政的な課題について
第26回	令和7年6月20日	○庁舎整備に係る財政的な課題について ○庁舎整備基本計画（案）パブリックコメントについて ○オフィス環境整備に向けた取組（案）について ○庁舎整備推進本部ワーキングチームのメンバーについて
第27回	令和7年7月25日	○庁舎整備基本計画（案）パブリックコメントの結果及び庁舎整備基本計画の策定について ○新館活用の検討について
第28回	令和7年9月10日	○『書かない窓口』の取組について ○新館の活用（案）について ○皇子山総合運動公園のあり方検討に係るロードマップについて ○発注方法について
第29回	令和7年11月20日	○庁舎整備事業スケジュール案（詳細）について ○基本・実施設計業務委託（R8～R10）について ○新庁舎整備を見据えたペーパーレス化の推進について
第30回	令和8年1月26日	○設計事業者選定に係る公募型プロポーザルについて ○庁舎整備推進本部ワーキングチームについて ○文書管理適正化支援業務について ○新庁舎整備を見据えたペーパーレス化等の取組の推進体制（案）について
第31回	令和8年3月9日	○令和8年度の庁舎整備推進本部について（推進本部の体制、スケジュール等）

2 令和7年度の取組

(4) ワーキングチームについて

名称	概要	これまでの主な取組
① 庁舎整備によるまちづくり検討WT	○基本計画に基づく庁舎整備	○基本計画の策定に向けた検討 ○まちづくりを目的とした庁舎整備に係る交付金や補助金等の活用
② 庁舎整備事業調整WT（新規）	○新庁舎建設に係る事業調整	○新庁舎建設に係る用地取得、市道認定、開発協議等のスケジュール調整
③ 新館の活用検討WT	○新館の活用の方向性	○新館の活用について検討 ○子ども関連機能配置の可能性検討
④ 明日都浜大津の活用検討WT	○明日都浜大津の活用の方向性	○明日都浜大津の活用について検討
⑤ オフィス環境検討WT	○オフィス環境及びレイアウト検討、働き方改革	○新庁舎におけるオフィススタンダードの検討 ⇒パイロットオフィスでの検証 ○建築関係総合窓口の可能性検討
⑥ 公文書管理制度WT	○文書管理のルールの見直し、電子決裁の推進、文書の削減	○公文書管理制度に係る検討 ○現行文書管理制度の課題整理 ○庁舎整備を見据えたペーパーレス化の推進
⑦ 窓口サービスWT	○総合窓口化、書かない窓口 ○総合案内、相談窓口	○ワンストップ、書かない窓口を見据えた「窓口体験調査」の実施 ○総合窓口化、書かない窓口を見据えた「おくやみ窓口」の利便性向上

2 令和7年度の取組

(5) 大津市庁舎整備基本計画策定懇話会について (令和6～7年度)

開催回	開催日時	概要
第1回	令和6年7月18日	○景観・ランドスケープについて ○機能について ○進め方について
第2回	令和6年11月25日	○ゾーニング（駐車場）について ○ゾーニング（公園との一体性）について ○新庁舎ボリュームの検討と建築計画について
個別意見聴取 令和6年12月24日～ 令和7年1月10日		○基本計画の視点について ○市民意見について ○建築計画について ○防災について ○環境について ○駐車場について
個別意見聴取 令和7年2月26日～ 令和7年3月7日		○基本計画の各章の記載内容について意見聴取
第3回	令和7年3月27日	○基本計画（素案）全体についての意見聴取
第4回	令和7年7月4日	○基本計画（案）全体についての意見聴取 ○基本計画（案）に関するパブリックコメントについて ○今後の庁舎整備に係る留意点等について

3 設計事業者選定に向けた取組

3 設計事業者選定に向けた取組

(1) 大津市新庁舎整備基本設計・実施設計業務について

予 算	:	1, 122, 000千円
提案価格	:	841, 500千円
業務期間	:	令和8年6月頃～令和11年3月（予定）
内 容	:	ア 基本設計・実施設計業務 （ア）基本設計・実施設計標準業務 （イ）公園と一体となったランドスケープ計画検討 （ウ）交通量調査・市道兼園路の予備設計 （エ）ZEB検討 （オ）市民ワークショップ開催支援 （カ）オフィス環境検討／設計 イ 事業計画検討支援 （ア）概算事業費及び財源の検討 （イ）事業スケジュールの検討 （ウ）コストマネジメント ウ その他検討推進に関する支援
発注方式	:	公募型プロポーザルによる随意契約
審査機関	:	大津市新庁舎整備基本設計・実施設計事業者選定委員会 ※大津市附属機関

3 設計事業者選定に向けた取組

(2) 大津市新庁舎整備基本設計・実施設計事業者選定委員会について

名 称	: 大津市新庁舎整備基本設計・実施設計事業者選定委員会
目 的	: 公募提案方式により市役所の庁舎の整備に係る基本設計及び実施設計を行う事業者を選定するために必要な事項を審査等すること。
委 員 数	: 9人
委員構成	: 学識経験を有する者及び市職員

氏名	分野	所属・役職	備考
宗田 好史※	都市計画	関西国際大学 国際コミュニケーション学部長 観光学科 教授	外部委員
村上 修一	公園	滋賀県立大学 環境科学部 教授	外部委員
麻生 美希	都市計画	同志社女子大学 生活科学部 教授	外部委員
石原 凌河	防災	龍谷大学 政策学部 准教授	外部委員
是永 美樹	建築(計画)	京都女子大学 家政学部 准教授	外部委員
高田 豊文	建築(構造)	滋賀県立大学 環境科学部 教授	外部委員
近本 智行	建築(設備)	立命館大学 理工学部 教授	外部委員
山本 幸司	建設部		内部委員
中井 英紀	都市計画部		内部委員

※委員長

3 設計事業者選定に向けた取組

(3) 設計事業者の選定経過について

大津市新庁舎整備基本設計・実施設計事業者選定

公開プレゼンテーション審査

大津市では、新しい庁舎の設計者の選定に向けて、有識者等（外部委員7名、内部委員2名）で構成する「大津市新庁舎整備基本設計・実施設計事業者選定委員会」を設置し、審査を進めています。

このたび、応募事業者から提出された企画提案書に基づく1次審査（書類審査）後に、2次審査（プレゼンテーション審査（企画提案書の内容説明及び選定委員会による質疑））を実施します。

この2次審査については、市民の皆様には審査の様子をご覧いただけるよう公開で行います。未来の大津市庁舎について考える機会として、市民の皆様のご来場をお待ちしております。

開催日時 2026年4月25日(土)
13:00 受付 13:30～ 開始

開催場所 大津市役所 新館 7階 大会議室
(大津市御陵町3番1号) ※右図参照

対象・定員 大津市民(市内在勤・在学中の方を含む)
100名程度(事前申込制・先着順)
※合理的配慮(手話通訳等)が必要な方はお申し出ください。



【来場される方へのお願い】

- 事前にお申込みをお願いします。定員に達した場合はご入場いただけません。あらかじめご了承ください。
- 公正な審査運営のため、傍聴の方からの発言はご遠慮ください。また、拍手、声援その他いかなる方法によっても、企画提案や審査に賛否を表す行為はご遠慮ください。
- 会場内では、写真撮影、録画、録音はご遠慮ください。
- 携帯電話、スマートフォン等は、電源を切るかマナーモードに設定し、会場内での通話や操作はご遠慮ください。
- 会場内での飲食、喫煙はご遠慮ください。
- 審査の一部は非公開となります。非公開の議題の際は、係員の指示に従い、会場外へ退室してください。
- 会場内では係員の指示に従ってください。
- 上記の遵守事項に違反する行為があった場合は、注意を促します。注意に従っていただけない場合は、退席していただくことがありますので、ご了承ください。

【お問い合わせ先】

大津市 総務部 庁舎整備課 電話：077-536-5736（開庁日の9時～17時）
FAX：077-528-2626 Email：otsu1240@city.otsu.lg.jp

月 日	概 要
令和8年 1月13日	第1回大津市新庁舎整備基本設計・実施設計事業者選定委員会
1月20日	公募開始
4月2日	公募締切（2者からの応募を受付）
4月17日	第2回大津市新庁舎整備基本設計・実施設計事業者選定委員会 【1次審査＝書類審査】（2者が通過）
4月25日	第3回大津市新庁舎整備基本設計・実施設計事業者選定委員会 【2次審査＝公開プレゼン審査】 約80人の市民が傍聴
5月12日	選定委員会から市への答申

株式会社佐藤総合計画 関西オフィスを
最優秀提案者(受注候補者)として選定

4 庁舎整備に向けた今後の取組 (令和8年度～)

4 庁舎整備に向けた今後の取組（令和8年度～）

（１）庁舎整備に係る令和8年度当初予算と事業概要

① 新庁舎整備基本設計業務

皇子山総合運動公園（一部）で、敷地の特性を活かし、公園と一体となった新庁舎を整備することで、「交流の創出などによるまちづくりの効果」及び「防災拠点として防災力の向上」を目指し、基本設計を行う。

⇒ 391,600千円（令和8年度現計化分）

令和8年度（基本設計に係る費用）	予算	391,600千円
	提案価格	333,872千円
令和10年度（実施設計に係る費用）	予算	753,893千円
※令和10年度は債務負担行為設定額	提案価格	507,628千円

② 文書管理適正化支援業務

新庁舎で管理する文書量を最小限（ムダを持ち込まない）とするために実施する公文書管理制度及び運用の見直し、現状の各所属の文書量調査及びそれらの結果を踏まえた文書削減計画の策定並びに各所属の文書削減作業など、文書管理適正化の取組に必要な支援を行う。

⇒ 債務負担行為の設定

令和8年度予算	0千円	
令和9年度予算	23,760千円	契約額 21,956千円

4 庁舎整備に向けた今後の取組（令和8年度～）

（１）庁舎整備に係る令和8年度当初予算と事業概要

③ 皇子山総合運動公園芝生広場ほか撤去工事

新庁舎の建設予定地を国から取得するにあたり、国において土壌汚染調査及び地下埋設物調査が実施されることから、市が設置した芝生広場及びテニスコート等の撤去工事を行う。

⇒ 74, 851千円（令和8年度現計化分）

令和7年度予算 47, 900千円

契約額 42, 220千円

令和8年度予算 74, 851千円

契約額 63, 352千円

④ 新庁舎整備基本設計に係る市民ワークショップ及び懇話会開催経費

基本設計は、建物の完成イメージやコンセプト、構造、規模などを決定し、概算費用を算出するための骨子となる設計段階であることから、市民ワークショップや各分野の専門家で構成する懇話会での意見を設計の参考とするもの

◆市民ワークショップ開催経費 380千円

◆懇話会開催経費 267千円

4 庁舎整備に向けた今後の取組（令和8年度～）

（2）令和8年度の庁舎整備推進本部体制について

① 庁舎整備推進本部について

<設置目的>

市役所の庁舎整備を総合的かつ着実に推進するため、大津市庁舎整備推進本部を設置する。（令和3年7月1日設置）

<所掌事務>

- ・庁舎整備に係る基本設計及び実施設計に関すること
- ・庁舎整備の推進に係る調査及び研究に関すること
- ・その他庁舎整備の推進について必要な事項に関すること

● 令和8年度から本部長を副市長から市長に変更

② ワーキングチーム等について

令和7年度

ワーキングチーム
①庁舎整備事業調整WT
②オフィス環境検討WT
③公文書管理制度WT
④窓口サービスWT
⑤庁舎整備によるまちづくり検討WT
⑥新館の活用検討WT
⑦明日都浜大津の活用検討WT

令和8年度

ワーキングチーム（全庁的な検討）
① 庁舎整備事業調整WT ・用地取得 ST ・市道兼園路整備 ST ・京阪大津市役所前駅の利便性向上検討 ST
② 公文書管理制度WT ・文書削減推進 ST ・業務効率化に係るスキャナー活用検討 ST ・公文書廃棄方法検討 ST
③ 市民サービス検討WT ※支所含む。 ・書かない窓口導入 ST ・総合案内・相談窓口 ST

マインドセット改革推進チーム “やらせる組織” → “自らやる組織”

- ① スマートワーク推進チーム
※筆頭課課長
- ② 内部モニタリング活用検討チーム

WT…ワーキングチーム ST…サブチーム PT…プロジェクトチーム

個別検討プロジェクトチーム	
①防災力向上検討 PT	⑤レイアウト調整 PT
②市民交流スペース・広場・公園活用・情報発信検討 PT	⑥ZEB・LCC 検討PT
③働き方・働く環境改革(CASBEE/庁内緑化)検討 PT	⑦生産性向上に係る業務マニュアルの管理・活用における AI 可能性検討 PT
④障害者にとっても利用しやすい働きやすい庁舎検討 PT	⑧本庁・支所で提供している行政サービス全般のあり方検討 PT

個別タスク

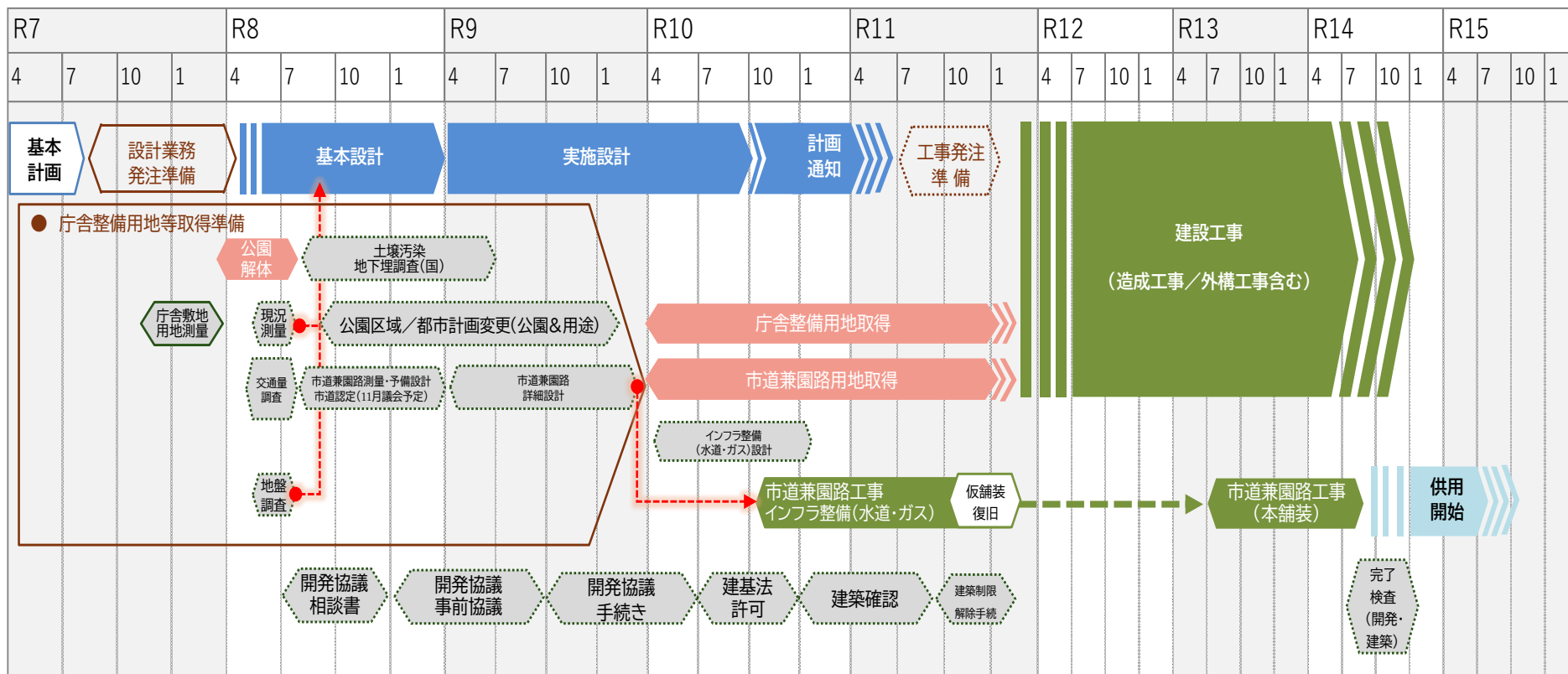
①財源確保の方針	⑥駐車場の有料化の方針
②電話・FAX・コミュニケーションツール全体最適化の方針	⑦議会・議場のあり方の方針
③将来を見据えた新庁舎における情報・DX 基盤の方針	⑧技術系総合窓口のあり方の方針
④事務サポートセンターの拡充方針	⑨文房具・コピー用紙一元管理・複合機削減等マグネットスペースのあり方の方針
⑤駐車場・公用車管理の方針	

関連個別タスク

①新館を核としたこども関連機能のあり方の方針	③明日都浜大津を核とした公マネの方針
②新館活用の方針	④新庁舎・新館・皇子山総合運動公園の包括管理の方針

4 庁舎整備に向けた今後の取組（令和8年度～）

（３）今後の想定スケジュール（全体スケジュール）



※用地の取得時期や造成工事等によりスケジュールに変更が生じる場合があります。

※公園整備に係るスケジュールは別途整理を行います。

4 庁舎整備に向けた今後の取組（令和8年度～）

（４）今後の想定スケジュール（文書管理適正化）

	R8				R9			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
文書管理の徹底	文書主任研修	文書整理月間	現行規程による 文書管理の徹底		文書主任研修	文書整理月間	新規規程による 文書管理の徹底	
公文書管理制度等の見直し	文書取扱規程等の見直し							
文書量削減の取組	文書量調査	削減計画の策定				文書削減作業	削減計画に基づく文書削減 再調査及び効果検証	